

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 1 教職座談会「教師の魅力」開催 特集 2 「明海大学あけみ英語村 2025」開催

10 月 13 日、本学の教職課程を修了して現在教員として活躍している卒業生を講師として招いた教職座談会「教師の魅力」を開催しました。1 年生から 4 年生まで幅広く、将来教職を志す多くの学生が集まりました。登壇したのは、現在千葉県や東京都、群馬県の中学校・高等学校で活躍する次の 5 人の方々です。

武藤 美憂 教諭 2023 年英米語学科卒 富岡市立富岡西中学校
網中 萌恵 教諭 2024 年日本語学科卒 旭市立飯岡中学校
橋口 和希 教諭 2024 年日本語学科卒 千葉県立小見川高等学校
川元 麻衣 教諭 2024 年英米語学科卒 千葉県立四街道高等学校
吉田 未来 教諭 2024 年英米語学科卒 江戸川区立上一色中学校



自己紹介では、担当教科や学校での取り組み、教育への思いなどが語られ、会場には自然と前向きな雰囲気が生まれました。座談会では、「日々大切にしていること」「教師になってよかったと感じる瞬間」「悩みや葛藤を乗り越えた経験」「これから教員を目指す学生へのアドバイス」という 4 つのテーマでお話をいただきました。生徒とのエピソードを交えながら、現場のリアルな姿を語ってくださいました。各セッション後には学生同士のグループ協議があり、「自分が教師になったら大切にしたいこと」「学生のうちに伸ばしたい力」などについて意見を交わし、発表を通して互いの考えを深めました。

事後のアンケートからは、次のような感想が寄せられました。

- 実際に教員として働く方々の話を聞き、自分が受けてきた授業を支える「現場の先生」の姿を実感できた。
- 自分の理想とする教師像がより鮮明になった。
- 教壇に立つまでに、自分に不足している部分を意識して伸ばしていく必要を感じた。

教職を目指す学生にとって、現場の声に触れ、教師としての将来像を描く貴重な機会となりました。



2026 年度教員採用試験ガイダンス

10 月 30 日、来年度の教員採用試験受験を希望する学生を対象に、「教員採用試験ガイダンス」を実施しました。浅田勉教授を講師として、今年度の採用動向や筆記・面接試験対策、戦略的な学修計画の立て方について解説が行われました。また、METTS の事業スケジュールや活用方法についても紹介され、大学の支援体制を活かして計画的に準備を進める大切さが強調されました。また、千葉県・東京都をはじめとする自治体の試験情報や前倒し受験の動きに触れ、自治体ごとの日程と傾向を早めに把握して備えることが呼びかけられました。参加学生からは「準備の優先事項が明確になった」「早期に行動する意識が高まった」といった声が寄せられました。なお、後日、2 年生対象のガイダンスも実施予定です。



「明海大学あけみ英語村 2025」開催

10月29日、本学に足立区立平野小学校6年生約80人を迎えて、「明海大学あけみ英語村 2025ー小学生異文化交流プロジェクト」を開催しました。本学の教職課程の2年生から4年生約30人と留学生12人と共に小学生の皆さんが英語で交流しました。

開村式後に12のグループに分かれて「グループ・ミーティング」でお互いに自己紹介をしたり、留学生の母国紹介を聞いたりして打ち解け合いました。その後、グループごとの「イングリッシュ・キャンパスツアー」で大学の様々な場所を巡りました。そしてコミュニケーション活動では、MLACCのアメリア出身のパトリツィア教授とカナダ出身のタイソン准教授から様々な国の食べ物や値段の言い方を教えてもらい、食べ物の写真を持った大学生に自分の好きな食べ物とその値段を伝えて買い物をする活動に取り組みました。閉村式では、参加賞として本学のグッズをプレゼントしました。



＜小学生の感想＞

- ・最初から最後まで大学生が優しく教えてくれて楽しく英語を学べてあっという間の時間でした。
- ・とても楽しくて、自分たちのために色々準備をしてくれたんだなと思った。
- ・英語が好きじゃなかったけど、明海大学ではお姉さんやお兄さんがやさしくて初めて英語が楽しいと思えました。

＜教職課程履修生・留学生の感想＞

- ・中高等学校の免許を取ろうと思っている自分には小学生と関われる貴重な体験ができてよかったです。
- ・小学生と接する貴重な機会で見守る子どもの特徴に合った接し方や英語の使い方を学ぶことができた。

異文化交流会（足立区立鹿浜菜の花中学校）

10月17日、本学と足立区の教育連携協定事業の一環として、本学の留学生5人が足立区立鹿浜菜の花中学校で1年生128人と英語による異文化交流会を持ちました。今回参加してくれた5人の留学生は、フィリピンとベトナム、香港の計3か国・地域出身でした。教職課程センター・地域学校教育センターの金子義隆教授が中学校と足立区教育委員会と一緒に企画し、同センターの遠藤哲也教授と共に引率をしました。



3時間目から6時間目までの1年生の英語の授業に参加しました。毎時間クラスを7グループに分け、各グループに留学生または遠藤教授、金子教授が加わり、持参してきた写真を使って自分が通った高校・大学の紹介をしました。また、中学生と一緒に訪れたい日本の観光地へのツアーを話し合いました。終始活発に英語でのコミュニケーションを楽しんでいました。

参加した中学生たちは「他国の人たちと話すには英語が必要なの分かりました。これからはもっと英語が話せるように勉強して、もう一回このような交流学习をしたいと思いました。とても楽しかったです」「いろんな国の方が来て、みんな英語の発音が違ったから英語を勉強していろいろな人と英語で話したいなと思いました」と感想を話してくれました。